

各 病 院 長 様

D12-3-11

社団法人滋賀県病院協会
会 長 井 上 四 郎

平成17年度院内感染対策講習会について（お知らせ）

県健康福祉部医務薬務課より標記講習会について別紙写のとおり通知がありましたのでお知らせいたします。

参加を希望されます場合は、別紙受講申込書を締切日までに当協会あて送付下さい。（申込書は、職種別に4種類ありますので、ご留意下さい。）

なお、今年度の滋賀県の受講選考枠は、医師2名・看護師2名・薬剤師1名・臨床検査技師1名です。

受講決定者には、後日、県医務薬務課より通知される予定です。

記

1. 申込書送付先 滋賀県病院協会事務局
〒520-0044
大津市京町4丁目3-33
滋賀プレスビル3階
TEL 077-525-7525
※申込書は必ず郵送でお送り下さいますようお願いいたします。

1. 申込み締切日 平成17年6月15日(水)厳守

院内感染対策講習会実施要領

1. 目 的

近年、MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）、VRE（バンコマイシン耐性腸球菌）及びノロウイルスをはじめとした各種の病原体に起因する院内感染の発生や、高齢者をはじめとした感染症に対する抵抗力が比較的低い患者の増加などから、医療機関においては、最新の科学的知見に基づいた適切な院内感染対策の実施が求められているところである。

院内感染対策については、個々の医療従事者ごとに対策を行うのではなく医療機関全体として取組むことが重要であることから、全ての職員に対する組織的な対応方針の指示や教育等を行うことが重要である。

これらの状況を踏まえ、医療機関における指導的立場を担う医療従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会を実施し、最新の科学的知見に基づいた適切な知識を伝達することにより、わが国における院内感染対策をより一層推進することを目的とするものである。

2. 対象者

病院、介護老人保健施設等に勤務する医師、看護師、薬剤師及び臨床検査技師であって、施設内感染対策について指導的立場を担う者として施設長の推薦する者。

3. 受講者の推薦及び決定

都道府県及び厚生労働省医政局国立病院課（以下「都道府県等」という。）は、前項に定める対象者のうちから院内感染対策の推進にあたって効果の期待できる者を推薦者として選考し、別紙（1）による受講者申込書を2部作成の上、厚生労働省医政局長に推薦するものとする。厚生労働省医政局長は、都道府県等から推薦のあった者のうちから受講者を決定し、都道府県等に通知するものとする。

4. 研修事業実施者

厚生労働省の委託により、医師、看護師については社団法人日本感染症学会、薬剤師については社団法人日本病院薬剤師会、臨床検査技師については日本臨床微生物学会がそれぞれ実施するものとする。

5. 講習期間、講習会会場及び受講定員

別紙（2）のとおりとする。

6. 講習内容

別紙（3）を標準とするものとする。

7. 受講経費

受講料は徴収しないものとする。また、受講者の受講地への旅費、滞在費及び宿泊費については受講者側の負担とするものとする。

8. その他

受講するために必要な筆記用具等は受講者が持参するものとする。

宿泊施設については受講者において準備するものとする。

講習会テキストは講習会当日、会場にて配布するものとする。

受講証書は受講者のうち、全講習時間の4分の3以上出席の場合に発行するものとする。

平成17年度院内感染対策講習会

<講習期間、講習会会場及び受講定員(医師、看護師、薬剤師)>

地区	職種・定員	講習期間	講習会場	住所
北海道・東北	医師 (100名)	10月17日(月) 18日(火)	札幌医科大学 大講堂	〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目
	薬剤師 (100名)	10月17日(月) 18日(火)	札幌医科大学 大講堂	〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目
	看護師 (100名)	10月17日(月) 18日(火)	札幌医科大学 大講堂	〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目
関東	医師 (100名)	9月28日(水) 29日(木)	文京シビックホール 小ホール	〒112-0003 文京区春日1丁目16番21号
	薬剤師 (100名)	9月28日(水) 29日(木)	文京シビックホール 小ホール	〒112-0003 文京区春日1丁目16番21号
	看護師 (100名)	9月28日(水) 29日(木)	文京シビックホール 小ホール	〒112-0003 文京区春日1丁目16番21号
	医師 (100名)	9月 3日(土) 4日(日)	京都大学 百周年時計台記念館(百周年記念ホール)	〒606-8501 京都市左京区吉田本町
関西	薬剤師 (100名)	9月 3日(土) 4日(日)	京都大学 百周年時計台記念館(百周年記念ホール)	〒606-8501 京都市左京区吉田本町
	看護師 (100名)	9月 3日(土) 4日(日)	京都大学 百周年時計台記念館(百周年記念ホール)	〒606-8501 京都市左京区吉田本町
	医師 (100名)	10月22日(土) 23日(日)	九州大学医学部 100年記念講堂	〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
九州・沖縄	薬剤師 (100名)	10月22日(土) 23日(日)	九州大学医学部 100年記念講堂	〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
	看護師 (100名)	10月22日(土) 23日(日)	九州大学医学部 100年記念講堂	〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1

平成17年度院内感染対策講習会

<講習期間、講習会会場及び受講定員(臨床検査技師)>

地区	職種・定員	講習期間	講習会会場	住所
神戸	臨床検査技師 (150名)	9月16日(金) 17日(土)	神戸大学 百年記念会館	〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
さいたま	臨床検査技師 (150名)	10月14日(金) 15日(土)	アフレさいたま	〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心3-2

別紙（3）

平成 17 年度院内感染対策講習会講習内容（医師）

- 1 血液媒介感染等
B 型肝炎、C 型肝炎、HIV 感染症等の予防体制、事故時の対応
- 2 院内感染関連微生物学
レジオネラ、バンコマイシン耐性腸球菌、結核、セラチア等のグラム陰性桿菌、
その他の細菌、ウイルス等、検体採取上の注意、細菌検査結果の読み方、院内環
境細菌検査等、国際的動向
- 3 院内感染対策 I
総論、諸外国の状況、手術創感染防止、滅菌、消毒法、環境整備、隔離、廃棄
物処理等
- 4 院内感染対策 II
留置カテーテル及び三方活栓等の感染防止、易感染患者対策、交叉感染防止等、
透析患者の感染防止、集中治療室における対策、新生児対策
- 5 重症急性呼吸器症候群（SARS）対策
総論、院内感染対策について等
- 6 院内感染関連法令
医療法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、結核予防
法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等
- 7 院内感染の薬物療法
抗菌薬の安全使用について等
- 8 院内感染対策のシステム化
院内感染対策委員会、院内感染対策の進め方、院内サーベイランス、疫学
概論、情報提供のしくみ、診療従事者等の教育訓練、マニュアルの策定、チ
ームの組織化の実際、患者及びその家族等への説明について等
- 9 パネルディスカッション
質疑応答

別紙（3）

平成 17 年度院内感染対策講習会講習内容（看護師）

- 1 血液媒介感染等
B 型肝炎、C 型肝炎、HIV 感染症等の予防体制、事故時の対応
- 2 院内感染関連微生物学
細菌、ウイルス等、検体採取上の注意、細菌検査結果の読み方、院内環境細菌検査等、国際的動向
- 3 消毒及び滅菌の基礎と実際
滅菌方法、滅菌物の取扱い、消毒法、各種消毒薬の特徴と使用方法、滅菌及び消毒における副作用
- 4 環境管理
清掃、病室環境の清浄化、寝具、リネン類の取扱い、マットレスの取扱い、廃棄物処理等
- 5 重症急性呼吸器症候群（SARS）対策
総論、院内感染対策について等
- 6 院内感染関連法令
医療法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、結核予防法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等
- 7 感染防止の実際
感染症の伝播阻止対策、易感染患者の取扱い、医療従事者の感染予防、手洗い、日常手技の安全性の観点からの見直し、ヘパリン生食の調整・アルコール綿の調整時の注意点
- 8 看護管理上の対応
院内感染症例情報の把握、感染患者の看護、院内感染対策委員会の機能、院内サーベイランスの機能、感染制御ナースの役割等
- 9 パネルディスカッション
質疑応答

別紙（3）

平成 17 年度院内感染対策講習会講習内容（臨床検査技師）

- 1 感染対策と検査室の役割：これでいいのか検査部
これからの感染対策における検査室の果たすべき役割等
- 2 最低限これだけの感染対策は必要：対策のポイント
耐性菌の現状、結核感染症の現状と対策、検査室の問題、医療器具・器材の消毒の問題点、針刺し事故時の問題点、ウイルス対策の現状、職員教育、学生教育・ワクチン接種、DPC 対応など感染対策において認識すべき問題点等
- 3 手指衛生管理と消毒薬の適正使用
実践的な手洗い、手指消毒、皮膚消毒、標準予防策、感染経路別予防策等
- 4 針刺し事故対策の実践（血液媒体微生物）
基本的ワクチン接種、事故時の緊急処置と検査、事故後追跡調査、EPINet の活用法、検査室の役割等
- 5 ワークショップーアウトブレイク時の検査室対応の基本と実践ー
MRSA/MRDP/VRE などの耐性菌判定、治療薬アドバイス、結核、麻疹、風疹、水痘、ムンプス、アデノウイルス、ロタウイルス、ノロウイルス、重症急性呼吸器症候群（SARS）対策
- 6 感染症診断・治療・防止に役立つ検査結果の迅速報告方法
モニターすべき菌種、定期的に報告すべき情報、迅速に報告すべき情報、アウトブレイクを疑う時とは、検査室でしかできない疫学統計データと臨床への情報提供の在り方、診療科別の発症防止薬選択、治療薬選択、データベース化等
- 7 ICT における臨床検査技師の役割
感染対策に向けた検査室の対応ー自動化(LAS)、情報化(LIS)、迅速化(LRS)ー、感染対策の要である標準化された検査の実施、感染対策に役立つ迅速検査の実施、感染対策に最低限必要な疫学統計情報と情報提供等、サーベイランス
- 8 感染症治療における抗菌剤の使い方
呼吸器感染症（RTI）・尿路感染症（UTI）・術野感染症（SSI）等における発症阻止薬、治療薬の基本的使用法等
- 9 耐性菌検出患者への対応方法
耐性菌治療薬、隔離必要の有無、ガウンテクニック、病室消毒の是非等
- 10 ウイルス感染対策
麻疹、風疹、水痘、ムンプス感染症の現状、雇用時抗体価測定とワクチン接種の重要性、対策の実践等、SARS・鳥インフルエンザ対策
- 11 質疑応答、総括

※ 講習会内容は、細菌検査の経験者または基礎知識を有している臨床検査技師が理解できるレベルである。

別紙（3）

平成 17 年度院内感染対策講習会講習内容（薬剤師）

- 1 血液媒介感染等
B 型肝炎、C 型肝炎、HIV 感染症等の予防体制、事故時の対応
- 2 病院感染に注意すべき微生物
レジオネラ、バンコマイシン耐性腸球菌、結核、セラチア等のグラム陰性桿菌、その他の細菌・ウイルス等について、細菌検査結果の読み方、院内環境細菌検査等
- 3 感染症と薬物療法
抗菌薬の安全使用及び管理について、抗菌薬の選択、薬物投与計画、血中濃度モニタリングの適応の実際について等
- 4 消毒法及び滅菌法
滅菌方法、滅菌物の取扱い、院内製剤と無菌調製、消毒法、各種消毒薬の特徴と使用方法、滅菌及び消毒における副作用
- 5 重症急性呼吸器症候群（SARS）対策
総論、院内感染対策について等
- 6 院内感染関連法令
医療法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、結核予防法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等
- 7 院内感染対策のシステム化
院内感染対策委員会、院内感染対策の進め方、院内サーベイランス、情報提供のしくみ、診療従事者等の教育訓練、マニュアルの策定、ICT と薬剤師業務
- 8 パネルディスカッション
質疑応答